古澤 巖

Iwao Furusawa × Philharmonic Strings Berlin

ベルリンフィル・ハーモニック ストリングス

「愛のクリスマス」

スケジュール schedule　プロフィール profile

古澤巖が奏でるサン・ロレンツォ（1718年製ストラディヴァリウス）。
至福の音色と共に、気品溢れるクリスマスを演出します。

古澤巖×ベルリン・フィルハーモニック ストリングス 弦楽六重奏によるクリスマスコンサート。日本が誇るヴァイオリンの奇才「古澤巖」。国境を超え、名手が集う芸術家集団「ベルリン・フィルハーモニック ストリングス」。
メロディの魔術師「ロベルト・ディ・マリーノ」による書き下しの「コンチェルト第7番」、そして、ロドリーゴが平和への思いを込めて作曲したと言われる「アランフェス協奏曲」をマリーノのアレンジでお届けします。 とっておきのクリスマスを最高級のストラディヴァリウスと共に。

演奏予定曲

コンチェルト第７番：ロベルト・ディ・マリーノ
アランフェス協奏曲：ホアキン・ロドリーゴ
クリスマスソング　ほか

※曲目は変更になる可能性があります。

コンサート実施に関するお問い合わせ

News お知らせ

2022年8月15日
ホームページが開設されました。

協賛：株式会社 アルソア慧央グループ
後援：ドイツ連邦共和国大使館（東京、横浜、観世能楽堂）
ドイツ連邦共和国総領事館（名古屋、大阪、福岡）
ハッツアンリミテッド
企画制作：ＮＨＫエンタープライズ

ドイツと日本 Zukunft gestalten ともに未来へ

schedule スケジュール

スケジュール　プロフィール

日程	12月10日（土）
会場名	女神の森　陽陽メインホール
開場	13:00
開演	14:00
料金	前売￥7,000　当日￥8,000
チケット発売日	【一般販売】9月9日（金）
プレイガイド情報	◯YBS事業局 ◯あおいとり　0551-45-6717
お問い合わせ	あおいとり　0551-45-6717

日程	12月11日（日）	
会場名	観世能楽堂（銀座ＳＩＸ）	
開場	12:30	16:30
開演	13:00	17:00
料金	全席指定11,000円	
チケット発売日	【一般販売】9月9日（金）AM10:00〜	
プレイガイド情報	◯キョードー横浜　045-671-9911（土日祝除く平日11:00〜15:00） ◯観世能楽堂　03-6274-6579 ◯セクターエイティエイト　06-6353-8988（平日10:30〜17:00） http://www.nohkyogen.jp/ ◯ローソン（Lコード：32128） https://l-tike.com/order/?gLcode=32128 ◯チケットぴあ（Pコード：223-267） https://w.pia.jp/t/furusawa-berlinphil22/ ◯イープラス https://eplus.jp/	
お問い合わせ	キョードー横浜　045-671-9911（土日･祝を除く）	

日程	12月13日（火）
会場名	ザ・シンフォニーホール
開場	13:00
開演	14:00
料金	Ｓ席￥8,000　Ａ席￥6,500
チケット発売日	【一般販売】10月7日（金）
プレイガイド情報	◯ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333（火曜定休） https://www.symphonyhall.jp/?post_type=schedule&p=31304 ◯チケットぴあ（Pコード：224-561） https://w.pia.jp/t/furusawa-berlinphil22/ ◯ローソン（Lコード：54625） https://l-tike.com/furusawa-berlinphil/ ◯イープラス https://eplus.jp/furusawa-berlinphil221213/ ◯CNプレイガイド　0570-08-9999（オペレーター対応） https://www.cnplayguide.com/iwaofurusawa/
お問い合わせ	キョードーインフォメーション　0570-200-888

日程	12月14日（水）
会場名	福岡シンフォニーホール
開場	18:15
開演	19:00
料金	S席￥8,000　A席￥6,500 ※車椅子席（￥6,500）の取扱はアクロス福岡とヨランダオフィスのみ> ※未就学児入場不可（有料託児サービスあり／要・事前予約）
チケット発売日	【一般販売】8月28日（日）
プレイガイド情報	◯アクロス福岡チケットセンター　092-725-9112 https://www.acrosticket.jp/ ◯ヨランダオフィス・チケットセンター（10:00〜18:00） 0570-033-337（ナビダイヤル）　092-406-1771 ◯チケットぴあ　0570-02-9999（Pコード：222-095）※セブンイレブンでも購入可能 https://t.pia.jp/ ◯ローソンチケット（Lコード：85252）※ローソン・ミニストップでも購入可能 https://l-tike.com/
お問い合わせ	ヨランダオフィス・チケットセンター（10:00〜18:00） 0570-033-337（ナビダイヤル）／092-406-1771

日程	12月16日（金）
会場名	横浜みなとみらいホール　大ホール
開場	12:45
開演	13:30
料金	Ｓ席￥8,000　Ａ席￥6,500　Ｂ席￥5,000
チケット発売日	【一般販売】9月9日（金）
プレイガイド情報	◯キョードー横浜　045-671-9911（平日11:00〜15:00（土日・祝を除く）） ◯ローソン（Lコード：32128） https://l-tike.com/order/?gLcode=32128 ◯チケットぴあ（Pコード：222-280） https://w.pia.jp/t/furusawa-berlinphil22/ ◯イープラス https://eplus.jp/
お問い合わせ	キョードー横浜　045-671-9911　平日11:00〜15:00（土日・祝を除く）

日程	12月17日（土）
会場名	三井住友海上しらかわホール
開場	12:45
開演	13:30
料金	Ｓ席￥9,000　Ａ席￥7,500
チケット発売日	【一般販売】9月16日（金）
プレイガイド情報	◯アイ・チケット　0570-00-5310 https://clanago.com/i-ticket ◯しらかわホールチケットセンター　052-222-7117 ◯名鉄ホールチケットセンター　052-561-7755 https://www.e-meitetsu.com/mds/hall/ ◯芸文プレイガイド　052-972-0430 ◯チケットぴあ　（Pコード：244-508） https://t.pia.jp/ ◯ローソンチケット（Lコード：42239） https://l-tike.com/
お問い合わせ	クラシック名古屋　052-678-5310

日程	12月19日（月）
会場名	東京オペラシティ・コンサートホール
開場	12:45
開演	13:30
料金	Ｓ席￥8,000　Ａ席￥6,500
チケット発売日	【一般販売】9月9日（金）AM10:00〜
プレイガイド情報	◯キョードー横浜　045-671-9911　平日11:00〜15:00（土日・祝を除く） ◯ローソン（Lコード：32128） https://l-tike.com/order/?gLcode=32128 ◯チケットぴあ（Pコード：222-282） https://w.pia.jp/t/furusawa-berlinphil22/ ◯イープラス https://eplus.jp/
お問い合わせ	キョードー横浜　045-671-9911　平日11:00〜15:00（土日・祝を除く）

※今後のコロナ禍の状況により内容及び出演者を変更させていただく可能性がございます。
また、出演者変更に伴う払い戻しにはご対応いたしかねますので、予めご了承ください。
※本公演は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、国や自治体のガイドラインに従った対策を講じたうえで開催いたします。
※マスク未着用および37.5℃以上の発熱および体調の優れない方のご入場は出来ません。

profile プロフィール

スケジュール

プロフィール

古澤 巖

2013年ベルリンフィルの「12人のヴァイオリニスト」との共演を機に、毎年12月にベルリンフィルの仲間たちとツアーを続けている。今期は新しいメンバーと、新しいコンチェルト第７番はもとより、ギターの名曲「アランフェス協奏曲」が登場する。
競技ダンス番組「Dの旋律」出演中(テレビ東京(水)21:54、BSテレ東(土)25:30)。2022年9月からコンサート「古澤巖×山本耕史Dandyism Banquet」がスタートしている。年間150公演行い、洗足学園音楽大学客員教授として弦楽オーケストラ及び舞台創造学科、ダンス科と共演。COCO FARM WINERY取締役、コルシカ音楽祭メンバー、Mr.ル・マン寺田陽次郎氏率いるテラモスレーシングチームで年間10戦程参戦中。夏に日向でミュージック&サーフィンキャンプを開催。
《https://www.iwaofurusawa.com》

── 使用楽器 ──

Antonio Stradivari1718
"San Lorenzo Ex Viotti"
A.ストラディヴァリウス1718
"サン・ロレンツォ Exヴィオッティ"

現存するストラディヴァリウスは600挺と言われている中で最もユニークな作品の一つである。サイドには"GLORIA ET DIVITIE"という文字の痕跡があり、バスバーサイドには、"IN DMO EIUS"というはっきりとした文字が残っている。このフレーズは旧約聖書の詩篇第111章第3節からの引用で、 元はラテン語で「Gloria et divitiae indomo eius et iustitia eius manet in saeculumsaeculi」（栄光と富は神の家にあり、神の裁きは永遠である）とある。簡略化した抜粋が前述の一節（栄光と富は神の家にある）であり、ルネッサンス期には繁栄と富を願い、この言葉を様々な形で絵画や彫刻に入れていた。Antonio Stradivari 1718 "SAN LORENZO ExViotti"はそんな願いを込めてストラディヴァリウス本人が書いたものであり、その言葉の通り、他のストラディヴァリウスの作品にはない思いが込められていると考えられる。文：日本ヴァイオリン

ベルリン・フィルハーモニック ストリングス

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団から選ばれた弦楽奏者達による5名の室内楽団で、古澤巖とのプロジェクトのために設立された。メンバーは、ベルリン・フィルでの演奏歴の他、フィルハーモニック・ストリング・カルテット・ベルリンやエヒナトン三重奏団、フィルハーモニア・カルテット・ベルリンなど、多数の名門室内楽アンサンブルで長年活躍している。幅広い経験と芸術的情熱により、バッハやヴィヴァルディのような作曲家からピアソラ、ジョン・ウイリアムスなど、様々なジャンルとスタイルで演奏している。重厚な音色と一糸乱れぬ響きは圧巻である。

【ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団】
1882年に創設され、140年に及ぶ伝統を誇る世界最高峰のオーケストラ。
フルトヴェングラー、カラヤン、アバド、ラトルら錚々たる指揮者が歴代首席指揮者を務め、完璧なアンサンブルと輝かしいサウンドで世界中の音楽ファンを魅了し続けている。

Members

Dorian Xhoxhi （ドリアン・チョージ）
第1ヴァイオリン

6歳より父のもとでヴァイオリンを始める。ミュンヘン音楽大学、ベルリンのハンス･アイスラー音楽大学にて研鑽を積み、五嶋みどり、R.ファイン、Z.ブロン、E.フェルツの各氏に師事。ベルリン･ドイツ交響楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団を経て、2010 年ベルリン･フィルハーモニー管弦楽団に入団。

Álvaro Parra （アルバロ・パッラ）
第2ヴァイオリン

1996 年よりベルリンのハンス･アイスラー音楽大学にて S.ビカードと M.ミュックの両教授に師事し、2002 年ベルリン･フィルのカラヤン･アカデミーへ入学。05 年チリ･カトリック大学のヴァイオリン教授に就任。08 年ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団を経て、13 年ベルリン･フィルハーモニー管弦楽団に入団。

Sebastian Krunnies （セバスティアン・クルンニース）
ヴィオラ

わずか4歳で初めてヴィオラのレッスンを受ける。フライブルクで音楽と医学を学んだ後、モーツァルテウム音楽大学とハンス・アイスラー音楽大学で音楽の勉強を続けた。グスタフ・マーラー・ユーゲント管弦楽団、EUユース管弦楽団等で初めてオーケストラ経験を積み、 2000年ベルリン･フィルハーモニー管弦楽団に入団。

David Riniker （ダーヴィット・リニカー）
チェロ

音楽家の家庭で育ち、最初のレッスンをJean Paul Guéneuxに受ける。その後バーゼル州立音楽院のコンサート・クラスに入学し、A.メネセスに師事。1995年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。作曲家としても優れた才能を発揮し、自らも所属するベルリン・フィル12人のチェリストたちでは多くのレパートリーの編曲も担当している。

Michael Karg （ミヒャエル・カーグ）
コントラバス

アンバーグにある芸術高校でコントラバスに出会い、ニュルンベルク音楽大学のD.マーク教授に師事。国際コンクールの優勝者として、多くのオーケストラや音楽祭から招待され、ケルンWDR交響楽団やベルリン・フィルハーモニー管弦楽団とともに研鑽を積む。2014年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団

古澤巖 × ベルリン・フィルハーモニック ストリングス
「愛のクリスマス」

Iwao Furusawa × Philharmonic Strings Berlin

2022年12月11日（日）START 13:00　観世能楽堂

Program

第1部

1. マリーノのコンチェルト　第6番より第2楽章「海」　Roberto Di Marino（ロベルト・ディ・マリーノ）

人生は、ときに穏やかに凪ぎ、ときに激しく波打つ海を渡る旅だ。
このヴァイオリンコンチェルトの第2楽章を耳にすると、穏やかな波に身体をまかせながら会話する一組の恋人たち（ヴァイオリンとチェロ）の姿が自然と思い浮かぶ。その旋律には絶えず海の音が寄り添い、静かにたゆたう波が揺りかごのようにそっと恋人たちを揺らす。二人は海から生まれ、やがて海に還ってゆく。
— ロベルト・ディ・マリーノ —

2. マリーノのコンチェルト　第7番　Roberto Di Marino（ロベルト・ディ・マリーノ）

音楽は音楽以外の何ものでもなく、耳に届く音符の連なりでしかないという人がいる。しかし私はこう思う。私たちは絶えず、自分自身の在りようを映し出す様々な新しい力を音楽に託しているのだと。私には、このヴァイオリンコンチェルトが対話のように思えるのだ。その対話の中で（私の知らない言語で語られるので言葉の意味は分からないが）、私はそこに表出されるものを完璧に理解する。ある時は穏やかに、礼儀正しく。ある時は緊張と対立をはらんで。またある時は親密に、蠱惑（こわく）的に。こうした感情の動きを追いながら、私は自分だけの想像の物語を紡いでゆく。
— ロベルト・ディ・マリーノ —

3. ヴァイオリン協奏曲集「四季」より　「冬」　Antonio Lucio Vivaldi（アントニオ・ヴィヴァルディ）

ヴァイオリン協奏曲集「和声と相違への試み」（1725年）から第4番の楽曲。
タイトルの「四季」はヴィヴァルディ自身がつけたものでないとされているが、タイトルの通り、春夏秋冬の季節ごとに様々な様子が表現されている。
「冬」の第1楽章では、寒さでふるえる雪の中、足の冷たさを振り解くために歩き回り、歯がガチガチと鳴る様子が描かれ、第2楽章では、暖炉のある暖かい部屋のなかでゆっくりと過ごす様子が描かれている。そして、第3楽章では、厳しい冬の情景から春の訪れも感じられ、“冬来りなば春遠からじ”という教訓を示すように全曲を締めくくっている。

第2部

4. 行進曲「威風堂々」第1番 op.39　Edward William Elgar（エドワード・エルガー）

エルガーの作曲した曲の中でいちばん有名な曲。英国の第2の国歌のように親しまれている。この曲のタイトルとなっている「威風堂々」は，シェークスピアの「オテロ」第3幕第3場に出てくるオセロのセリフ「Pomp and circumstance of glorious war（輝かしい戦いの盛儀盛宴）」から取られている。エドワード7世がこの行進曲を聴いて「君はいずれ世界中くまなく広まる節を作曲したね」とエルガーを賞賛したという逸話も有名。

5. アランフェス協奏曲　Joaquín Rodrigo（ホアキン・ロドリーゴ）
編曲：Roberto Di Marino（ロベルト・ディ・マリーノ）

ダイヤモンドに魅せられた者が人生を一変させるようなダイヤモンドを求めるように、あるいは若者が生涯を共にする理想の相手を求めるように、作曲家は誰しもが至高のテーマを追い求めているのだと思う。アランフェス協奏曲第2楽章のテーマのような。人は皆、誰もが美の探求者なのだ。
— ロベルト・ディ・マリーノ —

6. Danza ritual del fuego　Manuel de Falla（マヌエル・デ・ファリャ）
編曲：Roberto Di Marino（ロベルト・ディ・マリーノ）

火祭りの踊り
音楽といえば踊りがつきものである。音楽、そして踊りがあってこそ、私たちは生きていることを実感し、生命の流れの中に身を置くことができるのだ。このことをかくも素晴らしい形で再認識させてくれたマヌエル・デ・ファリャに感謝。　— ロベルト・ディ・マリーノ —
～スペインの作曲家マヌエル・デ・ファリャが1915年頃に作曲した組曲『恋は魔術師 El amor brujo』より～

7. マリーノのコンチェルト　第6番より第1楽章　Roberto Di Marino（ロベルト・ディ・マリーノ）

長い長いチューブを遂に抜けて昨年やって来た第6番目のコンチェルト。それまでの作品から突抜けたかのような骨太いメロディそして包容力。歴史を塗り替えながら進むロベルトの愛と情熱の賜物。本編最後に、明るい未来を信じて、コンチェルト第6番第1楽章をお届けします。
— 古澤 巖 —

Profile

古澤 巖　Iwao Furusawa

2013 年ベルリン・フィルの「12 人のヴァイオリニスト」との共演を機に、毎年 12 月にベルリン・フィルの仲間たちとツアーを続けている。今期は新しいメンバーと、新しいコンチェルト第7番はもとより、ギターの名曲「アランフェス協奏曲」が登場する。
競技ダンス番組「D の旋律」出演中（テレビ東京 ㈬ 21:54、BS テレ東 ㈯ 25:30）。2022 年 9 月からコンサート「古澤巖 × 山本耕史 Dandyism Banquet」がスタートしている。年間 150 公演行い、洗足学園音楽大学客員教授として弦楽オーケストラ及びダンスコース、音楽環境創造コースと共演。COCO FARM WINERY 取締役、コルシカ音楽祭メンバー、Mr. ル・マン寺田陽次郎氏率いるテラモスレーシングチームで年間 10 戦程参戦中。夏に日向でミュージック & サーフィンキャンプを開催。
《https://www.iwaofurusawa.com》

ベルリン・フィルハーモニック ストリングス　Philharmonic Strings Berlin

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団から選ばれた弦楽奏者達による 5 名の室内楽団で、古澤巖とのプロジェクトのために設立された。メンバーは、ベルリン・フィルでの演奏歴の他、フィルハーモニック・ストリング・カルテット・ベルリンやエヒナトン三重奏団、フィルハーモニア・カルテット・ベルリンなど、多数の名門室内楽アンサンブルで長年活躍している。幅広い経験と芸術的情熱により、バッハやヴィヴァルディのような作曲家からピアソラ、ジョン・ウィリアムズなど、様々なジャンルとスタイルで演奏している。重厚な音色と一糸乱れぬ響きは圧巻である。

Dorian Xhoxhi（第1ヴァイオリン）

6 歳より父のもとでヴァイオリンを始める。ミュンヘン音楽大学、ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学にて研鑽を積み、五嶋みどり、R. ファイン、Z. ブロン、E. フェルツの各氏に師事。ベルリン・ドイツ交響楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団を経て、2010 年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。

Álvaro Parra（第2ヴァイオリン）

1996 年よりベルリンのハンス・アイスラー音楽大学にて S. ピカードと M. ミュッケの両教授に師事し、2002 年ベルリン・フィルのカラヤン・アカデミーへ入学。05 年チリ・カトリック大学のヴァイオリン教授に就任。08 年ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団を経て、13 年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。

Sebastian Krunnies（ヴィオラ）

わずか 4 歳で初めてヴィオラのレッスンを受ける。フライブルクで音楽と医学を学んだ後、モーツァルテウム音楽大学とハンス・アイスラー音楽大学で音楽の勉強を続けた。グスタフ・マーラー・ユーゲント管弦楽団、EU ユース管弦楽団等で初めてオーケストラ経験を積み、2000 年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。

David Riniker（チェロ）

音楽家の家庭で育ち、最初のレッスンを Jean Paul Guéneux に受ける。その後バーゼル州立音楽院のコンサート・クラスに入学し、A. メネセスに師事。1995 年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。作曲家としても優れた才能を発揮し、自らも所属するベルリン・フィル 12 人のチェリストたちでは多くのレパートリーの編曲も担当している。

Michael Karg（コントラバス）

アンバーグにある芸術高校でコントラバスに出会い、ニュルンベルク音楽大学の D. マーク教授に師事。国際コンクールの優勝者として、多くのオーケストラや音楽祭から招待され、ケルン WDR 交響楽団やベルリン・フィルハーモニー管弦楽団とともに研鑽を積む。2014 年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団　Berliner Philharmoniker

1882 年に創設され、140 年に及ぶ伝統を誇る世界最高のオーケストラ。フルトヴェングラー、カラヤン、アバド、ラトルら錚々たる指揮者が歴代首席指揮者を務め、完璧なアンサンブルと輝かしいサウンドで世界中の音楽ファンを魅了し続けている。

主催：株式会社セクターエイティエイト
協賛：株式会社アルソア慧央グループ　後援：ドイツ連邦共和国大使館、ハッツアンリミテッド
企画制作：NHK エンタープライズ

日独交流160周年
Jahre Freundschaft
Deutschland – Japan